

大学院特別講義

(医歯学先端研究特論)(医歯理工学先端研究特論)
(生命理工医療科学先端研究特論)

下記により大学院特別講義を行いますので、多数ご来聴下さい。

参加希望者は、11月7日(火) 16時までに、下記に連絡をお願いいたします。

記

1. 講 師 瀧本 晃陽 先生
(東京都開業・米国歯内療法専門医・東京医科歯科大学歯学部臨床教授)
2. 演 題 歯内-歯周疾患の診断とその対応 - 歯内療法の立場から -
3. 日 時 令和5年11月10日(金)15時00分 ~ 17時00分
4. 場 所 D棟4階 特別講堂
5. 要 旨 歯内-歯周疾患は、「エンド-ペリオ病変」と一般的に呼ばれることがあり、歯周病学的にも歯内療法的にも問題を有することから、その診断と対応に苦慮することも少なくない。また、その他にも類似した臨床所見を示す病態も存在することから、チェアーサイドにおいて鑑別する必要があるが、決して容易ではない。今回の講演では、演者の専門である歯内療法の立場から歯内-歯周疾患について再考し、その診断と鑑別、対応について、実際の臨床例を通して考察を行いたい。

総合診療歯科学分野 則武 加奈子
(連絡先 伊藤 里美 hatomi.adm@cmn.tmd.ac.jp)